

2011年度

|   |  |    |      |     |       |
|---|--|----|------|-----|-------|
| 科目名   | 教育実習Ⅱ(英語)(高のみ免許希望者)  |    |      |     |       |
| 担当教員  | 小山 敏子  |    |      |     |       |
| 配当  | 英語4  |    |      | コード | 80263 |
| 開期  | 集中通年   | 講時 | 集中0限 | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ   | 理論と実践をつなぐ  |    |      |     |       |
| 目的と概要   | 実践現場でしか経験できないことを学ぶとともに、大学での学びを実践につなぐことを目的としている。中でも、集団理解、指導の実際の観察、日々のふり返りを大切にして実習を進める。        |    |      |     |       |
| 成績評価法   | 勤務態度、指導計画、指導技術、生徒に対する態度、集団活動の把握と指導、学級経営の理解と参加、実習記録の整理の7項目で評価する(比率は均等)                        |    |      |     |       |
| テキスト  | なし   |    |      |     |       |
| 参考書   | 適宜紹介する。  |    |      |     |       |
| 履修に当たっ<br>ての注意・助言<br>/準備学習  | 実習校での貴重な授業時間をいただいているので、実習先の学校に対して誠意をもった態度で実習を行うこと。<br>遅刻、無断欠席、提出物の遅延、実習校の教員や生徒への礼儀を失した態度は厳禁。 |    |      |     |       |
| 講義計画  |  |    |      |     |       |
| <p>基本的に、事前打ち合わせの後、指導実習校側が作成した実習計画に沿って実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の内訳             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観察</li> <li>2. 観察+参加</li> <li>3. 観察+参加+授業実習(研究授業)</li> </ol> <p style="margin-left: 40px;">※実習校によって、時間数等は変化するので、各校の担当教員の指示に従うこと</p> </li> <li>・実習日誌の記入             <p style="margin-left: 40px;">*作成・提出方法については、園によって方法が異なるので、園・担当教員の指示に従うこと</p> </li> </ul> |  |    |      |     |       |